

神奈川県フィルハーモニー管弦楽団首席ソロ・コンサートマスターの石田泰尚が2014年に企画・結成した弦楽アンサンブル『石田組』が2022/2023 ツアー日程を発表。4月9日の東京 かつしかシンフォニーヒルズ公演を皮切りに全国を周ります。石田泰尚が集めたメンバーは全員男性のみで“石田組長”が信頼を置く第一線で活躍するオーケストラメンバーを中心に“組員”が構成されています。今まで『石田組』で演奏したメンバーは50名を超え、毎回少しずつメンバー構成が変わります。演奏される楽曲は、クラシックのみならず、ピアソラや映画音楽、ロックと幅広く、公演地によってもプログラムが変わるのが特徴で、奏者一人一人の持ち味を存分に生かした松岡あさひの編曲も注目です。年々ファンを増やし続ける『石田組』の2022/2023 ツアーにぜひご期待ください。

「プログラムに色々なジャンルが入ることで自分たちの演奏を聴いてくれる人が多くなれば嬉しいと思って選曲しています。そして、自分が選んだメンバーは皆本当に上手いので、ぜひ注目してください。今まで『石田組』として行ったことのない地でたくさんのお客さんの前で演奏したいです。お客さんにももちろん、メンバーにも『石田組』を楽しんでもらいたい。それだけが自分の望みです。」

石田泰尚

石田泰尚 (Vn)

神奈川県出身。国立音楽大学を首席で卒業、同時に矢田部賞受賞。新星日本交響楽団コンサートマスターを経て、2001年神奈川県フィルハーモニー管弦楽団ソロ・コンサートマスターに就任。以来“神奈川県フィルの顔”となり現在は首席ソロ・コンサートマスターとしてその重責を担っている。これまでに神奈川県文化賞未来賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。結成時から20年以上参加するYAMATO String Quartet、自身がプロデュースした男性奏者のみの弦楽アンサンブル“石田組”など様々なユニットでも独特の輝きを見せる。2018年には石田組がNHK-FM「ベストオブクラシック」およびBSプレミアム「クラシック倶楽部」で放送されその熱いステージの模様は大きな反響を呼び、2019年にはEテレ「らららクラシック」で特集が組まれた。2020年4月より京都市交響楽団特別客演コンサートマスターを兼任。最新アルバムは2021年12月リリースされた“PIAZZOLLA LIVE”。2022年6月に初の著書となる「音楽家である前に、人間であれ!」を刊行。使用楽器は1690年製G.Tononi、1726年製M.Goffriller。



©Hikaru. ☆

組員

東大阪市公演



塩田脩(Vn) 山本翔平(Vn) 双紙正哉(Vn) 竹内弦(Vn)



桜田悟(Vn) 生野正樹(Va) 萩谷金太郎(Va) 古屋聡見(Va)



西谷牧人(Vc) 弘田徹(Vc) 松尾美弦(Vc) 米長幸一(Cb)

兵庫公演



佐久間聡一(Vn) 廣岡克隆(Vn) 双紙正哉(Vn) 村井俊朗(Vn)



田村昭博(Vn) 中村洋乃理(Va) 生野正樹(Va) 萩谷金太郎(Va)



辻本玲(Vc) 西谷牧人(Vc) 森山涼介(Vc) 米長幸一(Cb)

石田組ツアー2022/2023

2022年
4月9日(土) 東京:かつしかシンフォニーヒルズ モーツァルトホール
4月17日(日) 群馬:高崎芸術劇場
5月3日(火・祝) 大阪:ザ・シンフォニーホール
5月27日(金)・28日(土) 長野:八ヶ岳高原音楽堂
6月11日(土) 東京:サントリーホール・大ホール
7月18日(月・祝) 神奈川:厚木市文化会館
7月30日(土) 長崎:長崎ブリックホール
8月19日(金) 神奈川:ミュージアム川崎シンフォニーホール

9月11日(日) 山口:防府市地域交流センターアスピラート
9月24日(土) 神奈川:杉田劇場
9月25日(日) 石川:北國新聞赤羽ホール
10月9日(日) 愛知:愛知県芸術劇場
10月10日(月・祝) 大阪:東大阪市文化創造館DreamHouse・大ホール
10月15日(土) 茨城:つくばノバホール
10月29日(土) 兵庫:兵庫県立芸術文化センター・大ホール

11月23日(水・祝) 埼玉:クレアこうのす
11月30日(水) 大分:iichiko音の泉ホール
2023年
1月15日(日) 千葉:市川市民文化会館・大ホール
1月28日(土) 神奈川:横須賀芸術劇場
2月12日(日) 東京:中野ZEROホール
2月19日(日) 神奈川:相模女子大学グリーンホール